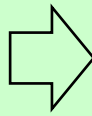


家族経営から始めた株式会社による白ねぎ大規模生産 ～河岡農園株式会社～

経営体の概要

入植前 : 平成22年度
基幹作物 : 白ねぎ
経営面積 : 4.4ha



入植後 : 令和元年度
基幹作物 : 白ねぎ
経営面積 : 14.0ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

河岡農園株式会社の代表取締役社長を務めている河岡誠氏は、平成19年度に農業大学校を卒業と同時に弓浜半島の農地（地区外）で就農。その後、より効率的に営農可能な農地を求め、平成23年度より中海地区（昭和63年度に完了した国営干拓事業「中海地区」弓浜工区（境港市））へ入植。平成28年9月1日には河岡農園株式会社を設立している。中海地区は、かん水施設・農道などの生産施設が整備されているとともに、集約された農地で規模経営が可能であるなど、干拓事業ならではのメリットを有効に活用して、入植前4.4haから、現在14haまで経営規模の拡大を進め白ねぎの大規模生産に取り組んでいる。また、年間を通して農業用水が安定して活用できることから、周年栽培による収益力向上を実現するなど、事業効果を大いに発現している。

営農改善のポイント

①作物の変化

白ねぎは、本地域が産地として確立しており、JAからの支援もあることから入植以前より導入しているが、栽培では特に品種の選定が重視されることから、暑さに対する耐性、収量、病害虫に対する耐性などの、情報収集や試験栽培を通して、最適な選定に務めている。その過程で、若手農業者等で独自の会「ネクスト」を設立し、生産者のほ場や県試験場などで情報交換するなど、地域との繋がりを重視した活動も行っている。



白ねぎ栽培



白ねぎ出荷用箱

②担い手の育成

労働力は、家族中心であるが、春ねぎ、夏ねぎ、秋冬ねぎ栽培により周年栽培を確立し、年間を通して雇用を創出することにより、正社員を15人雇用している。「ネクスト」では、営農技術の向上と若手の育成のため、県普及所の協力を得て、生産者のほ場での見学会、若手のほ場での指導等を行っている。また、新規就農を希望する研修生を受け入れるなど、地域農業の担い手として若手を育成している。



白ねぎの調製

事業概要

事業種 : 国営干拓事業「中海地区」
関係市町 : 鳥取県米子市、境港市、島根県松江市、安来市
受益面積 : 485ha
事業期間 : 昭和38～平成25年度
事業目的 : 干拓
主要工事 : 貯水池 2箇所、用水路 53.8km、排水路 2.6km、道路 19.1km

位置図（鳥取県・島根県）



<局問い合わせ先>

中国四国農政局
農村振興部農地整備課
電話 : 086-224-4511
(内線 : 2562)

(令和元年度調査時点)